

。○。○。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2015. 1. 26

下水道機構の『新技術情報』 第174号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。○。○。

来週 2/7(土)は下水道健康駅伝大会ですね。読者のみなさんの中にも出場される方もいらっしゃるかと思いますが、準備は万端ですか？頑張ってください!(^^)!下水道機構は6チーム出場予定です！機構チームをお見かけの際は応援よろしくお願ひします!(^^)!

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第174号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・2/25(水)に現場研修会を開催します！

■機構の動き

- ・今週は、1/29(木)に第2回審査証明委員会を開催します

■Tea Break

- ・上手な音の出し方 (研究第一部 Y・N さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回は資源循環研究部の島研究員より海外出張報告です♪
島研究員はどこへ出張したのでしょうか？

■国からの情報

- ・1/23 付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。○。○。

インフォメーション (最新の話題です)

。○。○。○。○。○。

●2/25(水)に現場研修会を開催します！

下水道機構では、下水道事業等の施設建設、維持管理等新技術について、業務の実態把握と意見交換等を目的とした新技術現場研修会を実施しています。

今回の現場研修会は、①隅田川幹線シールド工事現場②旧三河島污水処分場唧筒場の見学を行います。隅田川幹線工事は、東京都より受託した水理模型実験を、当機構が実施し、管内の流下変状等をきめ細やかに再現させた結果をもとに、都の設計・施工などへ反映できるよう支援したものであり、当機構の取り組み事例を現地説明します。さらに日本最初の近代下水道施設である旧三河島污水処分場唧筒場を見学し、知見を拡げることを目的としています。なお、本研修会は東京都下水道局様、東京都下水道サービス㈱様のご協力を得て開催するものです。

行 事：第63回（平成26年度第1回）新技術現場研修会

日 時：平成27年 2月25日（水）13:00～16:35 受付12:30～

対象者：下水道機構の出捐団体・賛助会員及び公共団体等の下水道技術者

場 所：「隅田川幹線シールド工事および旧三河島污水処分場唧筒場」

集 合：東急建設㈱ 隅田川幹線作業所（東京都墨田区墨田5-16）

※東武伊勢崎線 堀切駅から徒歩8分

解散場所：三河島水再生センター

※最寄駅・・・東京メトロ千代田線「町屋駅」、

京成線「町屋駅」ともに徒歩13分、都電荒川線「荒川二丁目」徒歩3分

定 員：35名（定員になり次第締め切らせていただきます。）

※申込み多数と予測されるため、原則、1機関1名とし、先着順に受けさせていただきます。

※お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop-at-site/workshop-at-site-form>

_____。○○。

機構の動き （機構の行事予定です）

○○○。_____

●平成27年1月29日（木） 10:00～17:00

行 事：平成26年度第2回審査証明委員会

場 所：機構8階 特別会議室

案 件：平成26年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各依頼技術の報告書の審議、および質疑応答、答申

○平成27年2月12日（木） 17:00～18:00

行 事：第334回技術サロン

場 所：機構8階 中会議室

ゲスト：国土交通省水管理・国土保全局下水道部町村下水道対策官 那須基 氏

テーマ：「平成27年度下水道事業予算について」（仮題）」

※参加お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

○平成 27 年 2 月 20 日(金)13:00~16:45【東京会場】

平成 27 年 2 月 27 日(金)13:00~16:45【大阪会場】

行 事 : 第 20 回新技術研究発表会

場 所 : 東京都港区 発明会館 【東京会場】

大阪市西区 大阪科学技術センター【大阪会場】

※参加お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop/workshop-form>

。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

●上手な音の出し方 (研究第一部 Y・N さんからの投稿です)

私の趣味の一つに音楽、特に歌があるのですが、実は日本人は骨格的に欧米人よりも歌が不向き、といわれることもあります。環境の問題もあると思いますが・・・

年始年末でカラオケに行かれた方も多いのではないのでしょうか??いくつかポイントレのやり方を紹介します。練習すれば絶対うまくなれますよ～。

☆腹式呼吸 (息を吸うとお腹が膨らむ呼吸)

仰向けになると自然に腹式呼吸になります。なぜこれができるといいかという、腹式呼吸だと肺がより大きく広がって空気がたくさん使えるから、という理由もあります。注意するのは腹筋に力を入れるのではなく、おへその下あたりの筋肉に注意することです。内臓の筋肉で横隔膜を下に引っ張るイメージです。

☆リップロール

口を閉じ、唇をほんの少し突き出し、閉じた唇の間から息を出して唇を「ブルブル」と振動させます。息のコントロールの練習です。なるべく低い音で、ゆったりとした感じでなが——く続けます。実はいうと結構難しいので是非お試しください。声をコントロールするのではなく、息(の量)をコントロールするのが上達の一步です。

☆脱力

歌声に全身の力みは禁物です。へその下はしっかり力をキープして、上半身はだらんと脱力しているのが理想です。気合い入れて頑張るよりも、脱力していた方がのびやかにしかも高い声ができるんです。

プラスアルファで、のっぺり顔じゃなく、ミスチル桜井さんみたいに表情豊かに!めっちゃくちゃ難しいですが、絶対必須テクニックでこれができると劇的といっているほど音域、音量変わります!(腹式は忘れないでくださいね)

正しい歌い方はと～～ってもいい運動にもなります。皆様も次の二次会(?)で少し意識してみてはいかがでしょう?

。○○。

まる子のゆいまーる (皆様との交流の場です)

。○○。

●今回は資源循環研究部の島研究員より海外出張報告です♪

<http://www.jiwet.or.jp/archives/yuimaru/2015-1-26>

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2015. 1. 23 付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 本田康秀

=====

★★★★★ ラインナップ ☆☆☆☆☆

●下水バイオガスを活用した「マルチエネルギー創造」

公民が連携した研究会をスタートします！【横浜市】

●「ベトナムでの下水道推進工法プロジェクトを本邦企業が受注！

～南部ビンズオン省水環境改善事業の下水管敷設事業に参画～】【国土交通省】

●「新たなステージに対応した防災・減災のあり方」の公表について【国土交通省】

●2/20(金)東京、2/27(金)大阪で、下水道新技術研究発表会を開催します【国土交通省】

○国土交通省災害・防災情報 (<http://www.mlit.go.jp/saigai/index.html>)

=====

●下水バイオガスを活用した「マルチエネルギー創造」

公民が連携した研究会をスタートします！【横浜市】

横浜市が描くエネルギー創造の将来像に向けて、下水汚泥処理で発生する下水汚泥消化ガス(以下「下水バイオガス」という。)を活用したマルチエネルギーの創造(日本初)について、民間企業(東京ガス株式会社、三菱日立パワーシステムズ株式会社等)と連携して研究会をスタートし、水素社会・低炭素社会の実現を目指します。今

後、必要な企業等の参画を求めています。

→横浜市記者発表資料

(<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/kisha/h26/150123-2.html>)

●「ベトナムでの下水道推進工法プロジェクトを本邦企業が受注！

～南部ビンズオン省水環境改善事業の下水管敷設事業に参画～」【国土交通省】

ベトナムの南部ビンズオン省水環境改善事業の一部に、本邦下水道推進工法関連企業が参画することが決定いたしましたので、お知らせいたします。本事業は、ベトナム南部のビンズオン省の省都トゥーザウモット市街地の水環境改善のための下水道整備に関する円借款事業です。今般、日本の推進工法関係企業であるヤスダエンジニアリング（株）が、事業の一部である推進工法による敷設管渠敷設工事（約 440m）に関し、本事業の元請であるコロソ社（韓国）との間で契約合意に至りました。国土交通省では、下水道グローバルセンター（G C U S）の活動等を通じ、アジアを中心とした海外への下水道システム等のインフラ輸出に関する官民連携した取り組みを推進しています。今般事業参画に至った本邦企業も G C U S の会員企業です。特にベトナムでは、ベトナム国建設省との間で締結された「下水道分野の技術協力に関する覚書」に基づき、政府間協議の実施やワークショップの開催、技術者育成への協力などを通じ、推進工法の海外展開に協力してまいりました。その一環として、平成 26 年 3 月に、日越協働により作成した推進工法関連基準類をベトナム側に提供いたしました。今般の事業の実施に際して、同基準類に基づいて設計が行われています。ベトナムを含めた東南アジア等での下水道推進工法の普及を皮切りに、引き続き海外でのインフラプロジェクトの推進に向け取り組んで参ります。詳細は、下記国土交通省下水道部のホームページをご参照ください。

→

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000357.html

●「新たなステージに対応した防災・減災のあり方」の公表について【国土交通省】

地震・津波については、最大クラスの地震動や津波を対象として対策を進めているところですが、洪水、内水等については、最大クラスの大雨等に対する対策は講じられておりません。

このため、地震・津波と同様、洪水、内水等についても、「最悪の事態」を視野に入れ、ハード・ソフトを総動員した対策を進めることが必要であることから、「比較的発生頻度の高い降雨等」に対しては、施設で守ることを基本とし、それを超える降雨等に対しては、「少なくとも命を守り、社会経済に壊滅的な被害が発生しない」ことを目標とし、ソフト対策に重点を置いて対応するという考え方を今回示しました。雨の降り方が局地化、集中化、激甚化している状況等を「新たなステージ」と捉え、これに対応するための今後の検討の方向性について、1 月 20 日にとりまとめを公表しました。詳細は、下記 URL をご覧下さい。

→ <http://www.mlit.go.jp/saigai/newstage.html>

●2/20(金)東京、2/27(金)大阪で、下水道新技術研究発表会を開催します【国土交通省】

地方公共団体および民間企業と共同研究した成果の紹介とその普及促進を目的として、公共団体および民間企業等の技術者を対象とした新技術研究発表会を開催いたします。2月20日（金）東京都港区発明会館で、2月27（金）大阪市西区大阪科学技術センターで、両会場とも13:00～16:45に開催します。今回の発表会には、日本大学総合科学研究所前田正博教授と国土交通省下水道部の増田隆司下水道事業課長を特別ゲストとしてお招きし、最新のホットな情報として、それぞれ「運営の時代の下水道経営と技術」、「下水道をめぐる最近の話題」についてご講演いただきます。当機構からは各研究部長が、今年度の主要テーマについて、研究成果を発表いたします。なお、土木学会の継続教育(CPD)プログラムにも認定されていますのでご活用下さい。参加をご希望される方は、当機構ホームページからWeb申し込みをお願いします。

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop/workshop-form>

=====

- ◆三菱商事、豪州企業から水道運営権取得 NZ含め35施設〈1/17 日本経済新聞〉
http://www.nikkei.com/article/DGXLASDZ15HF6_V10C15A1TJ1000/
- ◆東京に「海水浴場」復活 16年度にも葛西海浜公園で〈1/20 日本経済新聞〉
http://www.nikkei.com/article/DGXLASDG20H0H_Q5A120C1CC0000/
- ◆川底見える道頓堀に〈1/20 読売新聞〉
<http://www.yomiuri.co.jp/local/osaka/news/20150119-0YTNT50480.html>
- ◆東京など3大都市で最大級の浸水想定へ 千年に1度級〈1/20 朝日新聞〉
<http://www.asahi.com/articles/ASH1N4K86H1NUTIL024.html>
- ◆春日部市、汚泥処理施設を建て替え〈1/20 日本経済新聞〉
<http://www.nikkei.com/article/DGXLZ082118470Z10C15A1L72000/>
- ◆三菱レイヨン・日東電工 水処理を海外共同展開〈1/21 日本経済新聞〉
<http://www.nikkei.com/article/DGKKZ082184450Q5A120C1TJ1000/>
- ◆栃木県央浄化センターで来月から消化ガス発電〈1/22 産経ニュース〉
<http://www.sankei.com/region/news/150122/rgn1501220066-n1.html>
- ◆阪神大震災20年:教訓生かし遠距離送水 川崎消防が消火栓使えぬ事態想定〈1/18 神奈川新聞〉
https://www.kanaloco.jp/article/82914/cms_id/121632
- ◆パイル織を廃水処理に活用 新技術〈1/21 わかやま新報〉
http://www.wakayamashimpo.co.jp/2015/01/20150121_46314.html
- ◆諏訪湖畔で”浄化啓発”13年 「川柳看板」作者に返還へ〈1/22 長野日報〉
<http://www.nagano-np.co.jp/modules/news/article.php?storyid=33304>
- ◆混合型コンセッション導入へ 浜松市 15年度下期に事業者公募〈1/17 日刊建設工業新聞〉
<http://www.decn.co.jp/?p=21917>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20141031/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20141031/seikai7.pdf>
